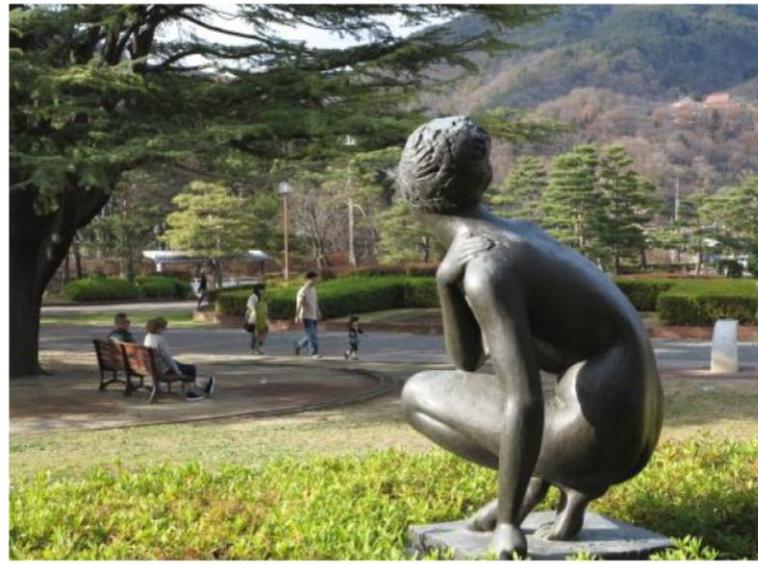


資料 1

平成29年10月3日

公共施設適正化検討委員会

城山公園の再整備について



都市整備部

公園緑地課

1 再整備の必要性



施設のあり方の検討

美術館エリアの再整備

公園一帯の再整備検討の必要性

城山公園再整備検討委員会の発足

2 再整備の検討範囲

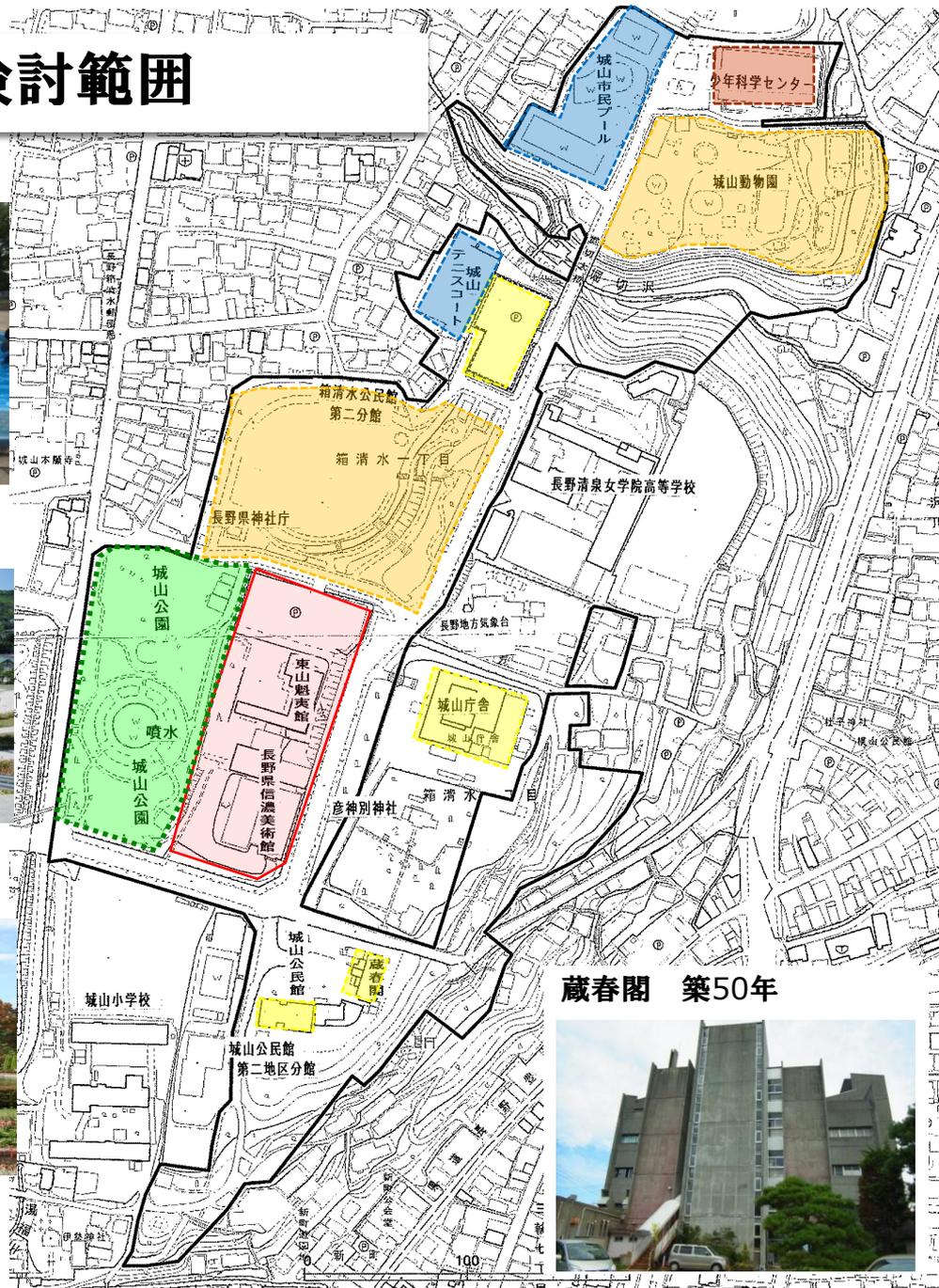
市民プール 築49年



ふれあい広場



噴水広場



少年科学センター築31年



城山動物園 築55年



城山庁舎 築54年



信濃美術館 築50年



蔵春閣 築50年



3 検討委員会の検討内容

城山公園一帯の再整備計画の検討の作成

基本構想の作成

公園のテーマを明らかにするとともに、公園を構成する主要な施設についても検討し、城山公園全体の基本的な方向性を決める。

ゾーニングの作成

基本構想によって示された方向性を踏まえて、各領域の特性に合わせた空間の分割を行って、ゾーンと呼ばれるグループを作る。

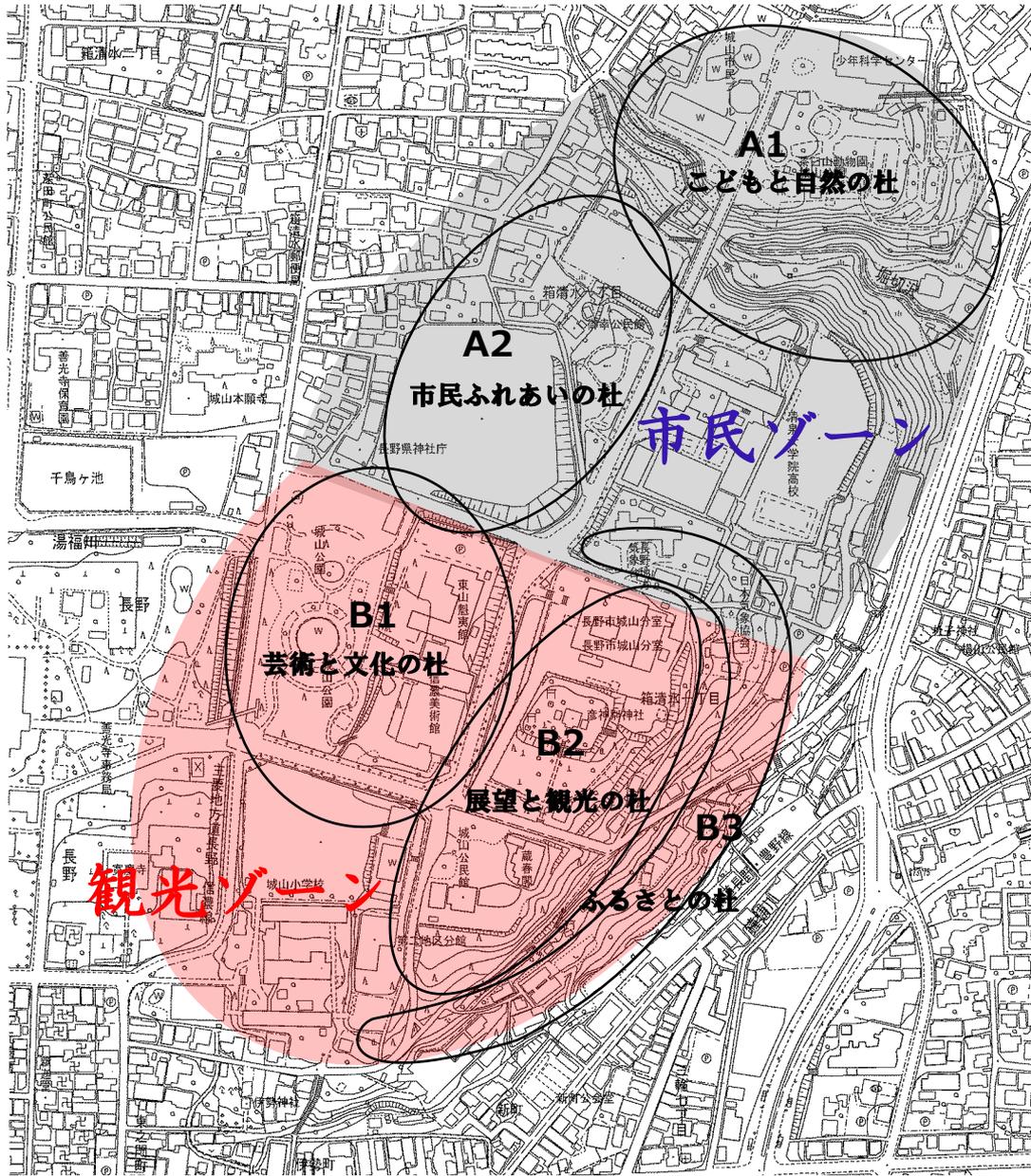
長期計画の作成

城山公園の再編成に向けた長期的な具体案を作る。

美術館ゾーンの検討

県立信濃美術館が位置するゾーンについては、公園と美術館が一体的に整備を進める必要があるため、他のゾーンに先行して具体的な方向性を打ち出す。

ゾーニング作業のイメージ図



市民ふれあいの杜

こどもと自然の杜

ふるさとの杜

芸術と文化の杜

展望と観光の杜

基本コンセプト 「門前町の四季を楽しむ公園」

長野市を代表する公園として長いあいだ市民から親しまれてきた歴史的な環境を継承しつつ、あらたに観光ゾーンをもうけて積極的に誘客施設を整えることで、門前町としての周遊感を作り出し、質の高い空間形成を図っていきます。

同時に市民ゾーンについては、現有する施設は有効に活用するとともに、計画デザインにあわせて施設のあり方を展開していきます。

4 美術館ゾーンの整備計画

回遊性の向上
土塁の一部撤去 歩道帯の拡張



- コンセプト
歴史ある城山公園としての機能を保持しつつ、信濃美術館と調和を図る。
- 施設整備方針
善光寺東庭園と城山公園の回遊性を高めるために周辺を整備する。
新美術館と城山公園は共通のコンセプトに基づき一体的に整備を図る。

回遊性の向上
・交差点の改良
・土塁一部撤去
・歩道帯の拡張
・歩道橋の撤去



5 検討スケジュール

検討内容

- ・平成29年度 信濃美術館改築に伴う美術館ゾーン
- ・平成30年度 城山公園一帯の基本構想の策定

	平成29年度										平成30年度										4					
	4	5	6	7	8	9	10	1 1	1 2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1 0		1 1	1 2	1	2	3
城山公園一帯	現況と課題										基本構想の策定										基本構想・公表					
	4.18 第1回	7.6 第2回									第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回 答申										
美術館ゾーン				基本設計の検討																						
				8.30 第3回 (諮問)	10月 第4回	12月 第5回 (答申)																				

6 各施設の方向性

『長野市公共施設等総合管理計画』より

■ 再編・再配置の方向性

○城山公園再整備計画に合わせて、一体整備を検討する施設

- ・ 茶臼山動物園城山分園【築55年】
- ・ 城山庁舎【築54年】
- ・ 城山公民館別館(蔵春閣)【築50年】
- ・ 少年科学センター【築31年】

○再配置計画モデル施設群として案を作成、市民意見を聞き
統廃合案を決定する施設

- ・ 城山市民プール【築49年】